

朝霞都市計画道路の変更（埼玉県決定）

都市計画道路 3・2・10 志木和光線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等の交差の構造	
幹線街路	3・2・10	志木和光線	朝霞市 大字宮戸 字北井房	朝霞市 大字台 字四反田	朝霞市 大字上内間木 字内川端	約 3,420 m		4車線	36 m		
		構造形式の内訳	朝霞市 大字上内間木 字川袋	朝霞市 大字浜崎 字新河岸川通		約 440 m	嵩上式	/	34.75 ～ 55.2 m		
			朝霞市 大字下内間木 字西屋敷	朝霞市 大字根岸 字下手町		約 480 m	嵩上式		41.9 m		
							約 2,500 m	地表式	/	34.75 ～ 57.5 m	幹線街路と平面交差 1箇所

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

変更理由

社会状況が変化したことを踏まえ、改めて交通需要を調査した結果、高架構造の必要性が低下したことから、本路線の基本的な構造を平面構造へ変更し、あわせて車線の数を4と定めるものです。

理 由 書

本理由書は、都市計画法第21条第2項の規定において準用する同法第17条第1項の規定に基づき、朝霞都市計画道路（埼玉県決定）の変更についての理由を示したものです。

I. 朝霞都市計画における位置等

朝霞都市計画区域に含まれる土地の区域は、朝霞市の行政区域の全域で、都心から約20km圏にあり、埼玉県の南部に位置しています。

【3・2・10志木和光線】

本路線は、志木市境を起点とし、和光市境へ至る、延長約3,420m、幅員36mの幹線街路であり、和光市の国道298号を起点として、富士見市の国道463号に至る国道254号和光富士見バイパスの一部を構成する路線です。

II. 変更の必要性

本路線は、県南西部の主要交通を担う広域幹線道路として、接続する都市計画道路と一連となり、高架構造及び平面構造の道路として都市計画決定されました。

その後、社会状況が変化したことを踏まえ、改めて交通需要を調査した結果、高架構造の必要性が低下したことから、本路線の基本的な構造を平面構造へ変更し、あわせて車線数を4と定めるものです。

III. 変更の内容

名称	延長	車線の数	幅員	内容
3・2・10志木和光線	約3,420m	4	36m	・ 基本的な構造の変更 ・ 車線数の決定